

令和 8 年 5 月 21 日、本校美術科 1～3 年生を対象に、独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館の연구원の方々をお招きし、東京国立博物館所蔵の屏風の高精細複製を用いた対話型鑑賞を実施しました。

生徒たちは연구원の方々との対話を通して作品を鑑賞し、屏風が制作された背景や見どころについて学びました。



鑑賞後にはグループワークを行い、「この屏風を多目的美術室に展示するとしたら、どのように配置すれば作品の魅力がより伝わる空間になるか」をテーマに意見を出し合いました。発表後には研究員の方々による講評が行われ、各班の提案の中から、一つの班のアイデアが選ばれました。そしてその案をもとに実際に屏風を立てて展示していただき、生徒たちは理解を深めることができました。



今回の鑑賞会では、作品を「見る」だけでなく、対話を通して多様な視点に触れながら作品の魅力を探究しました。また、展示方法について考える活動を通して、美術作品と空間との関わりについても学ぶことができました。生徒たちにとって、日本美術への理解を深める貴重な機会となりました。